

C20サミット・ハンドオーバーイベント

サウジアラビアの人々とともに、
「持続可能な世界」を求める市民の声を響かせる

=2020年サウジアラビアG20、C20（市民20）
に向けた連携と協力に向けて=



G20議長（右）に政策提言書を手渡すC20代表団（2019年4月、撮影・江口直宏）

2019年11月18日（月）13:00-17:00（開場 12:30）
聖心女子大学 4号館 3階 ブリット記念ホール
（東京都渋谷区広尾4-2-24 聖心グローバルプラザ）

- ◎アクセス：東京メトロ日比谷線広尾駅4番出口下車徒歩2分
- ◎地図：<http://ow.ly/3ZMP30pHviZ>
- ◎参加費：無料
- ◎言語：日本語・英語（日英同時通訳が入ります）
- ◎申込：以下URLから申込フォームにアクセスし、ご登録ください。
<http://ow.ly/GQvX30pHqOU>
- ◎主催・企画・実施：2019 G20サミット市民社会プラットフォーム
（一社）SDGs市民社会ネットワーク
（特活）国際協力NGOセンター（JANIC）
（特活）アフリカ日本協議会
- ◎助成：（公財）庭野平和財団 他
- ◎お問い合わせ：2019 G20サミット市民社会プラットフォーム 共同事務局
SDGs市民社会ネットワーク c20@sdgs-japan.net（担当：稲場）
国際協力NGOセンター janic-advocacy@janic.org（担当：堀内）



■開催趣旨

★日本でのG20を引き継ぐ、来年のG20開催国はサウジアラビアです。世界の市民社会の声をまとめ、「提言書」にして安倍晋三総理に手渡した「C20（市民20）」をはじめ、W（女性）20、L（労働）20など、8つの「エンゲージメント（参画）グループ」の取り組みも、サウジアラビアに引き継がれます。サウジアラビアに任期が移るのは12月1日です。

★サウジアラビアは、G20の「マルチステークホルダー」の仕組みを、どのように引き継ぐのでしょうか。また、サウジでの「C（市民）20」は、持続可能な社会や民主主義、アカウンタビリティ、ジェンダー平等などを求める市民の声を反映できるのでしょうか。それを知るには、この「ハンドオーバー・イベント」に参加するのが一番です。

★本イベントには、サウジアラビアでC20を実施する「ハーリド国王財団」（King Khalid Foundation）の最高責任者、ヌーフ・ビン＝ムハンマド・アル＝サ우드王女がパネリストとして参加し、来年のC20の取り組みについて説明します。また、2021年のG20開催国イタリア、2022年の開催国インドの市民社会代表も参加し、G20においてどのように市民の声を響かせるかを討議します。もちろん、昨年開催国アルゼンチン、今年日本のC20の成果の評価も行います。

★G7に比べて、はるかに多様性に富んだ国々で構成されるG20。科学技術イノベーションや世界的な「内向き志向」の広がりの中で、どのように市民の声を響かせていくのか。ご関心をお持ちの皆さまのご参加をお待ちしております。

■式次第

13:00-13:50 第1部「G20大阪サミットとC20の成果」

◎C20（市民20）代表や国際メンバーとホスト国の日本政府代表が、G20の成果とC20の重要性について討議します。

14:00-16:00 第2部「C20は何を実現できたか？」

◎社会開発、環境、貿易・投資・科学技術、民主主義・ガバナンスについて、C20（市民20）の各テーマ別ワーキング・グループのコーディネーターがパネルディスカッションを繰り広げます。

16:10-17:00 第3部「サウジアラビアG20へ：ハンドオーバーイベント」

◎C20の理念と組織、方法をまとめた「C20指導原則」をお披露目したのち、サウジアラビアの市民社会代表を務めるビン＝ムハンマド王女から来年のスケジュールが発表され、その後、2021年（イタリア）、2022年（インド）の開催国市民社会代表とのパネルディスカッションで締めます。

■参考

C20政策提言書 <http://www.civil-20.jp/blog/c20-policy-pack-2019-in-japanese>

C20指導原則 <https://civil-20.org/c20-agrees-principles-for-civil-society-engagement-with-g20/>